

産 業 厚 生 常 任 委 員 会 資 料

令和4年3月3日

産業振興部 農地整備課

目 次

・ 有害鳥獣対策について

【被害状況】	……	P 1		
【有害鳥獣の被害状況報告の変更】	……	P 2	～	3
【取組内容】	……	P 4	～	5
【実績から見る効果と検証】	……	P 6	～	8
【獣害ベルト緊急整備の被害箇所推移】	……	P 9	～	1 0
【新たな取組】	……	P 1 1	～	1 7
【総括及び今後の方針について】	……	P 1 8		

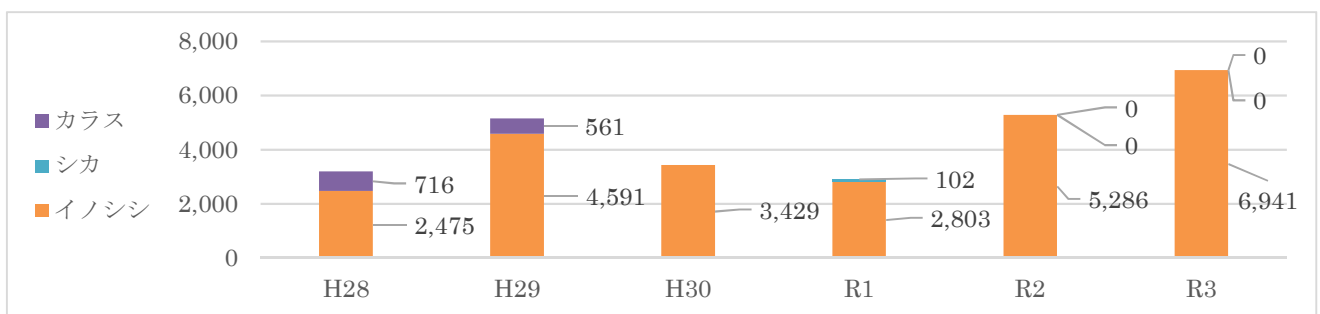
【被害状況】

・年度ごとの被害額

(単位：千円)

年 度	イノシシ	シカ	カラス	アライグマ	ヌートリア	合計
平成 28 年度	2,475	0	716	0	0	3,191
平成 29 年度	4,591	0	561	0	0	5,152
平成 30 年度	3,429	0	0	0	0	3,429
令和元年度	2,803	102	0	0	0	2,905
令和 2 年度	5,286	0	0	0	0	5,286
令和 3 年度 (R3.12 末時点)	6,941	0	0	0	0	6,941

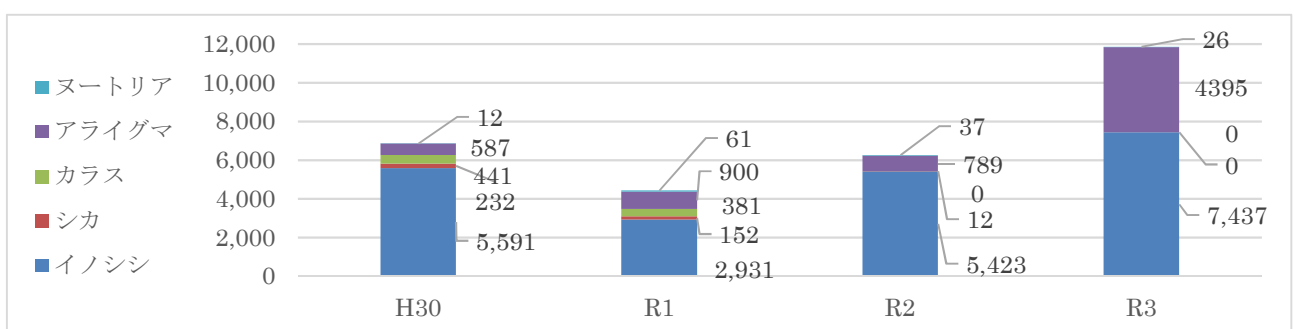
※被害額は農業共済被害報告額を基に算出



・農業共済被害報告額のほか、市が捕獲要望書等により把握した被害面積から算出した被害額

(単位：千円)

年 度	イノシシ	シカ	カラス	アライグマ	ヌートリア	合計
平成 30 年度	5,591	232	441	587	12	6,863
令和元年度	2,931	152	381	900	61	4,425
令和 2 年度	5,423	12	0	789	37	6,261
令和 3 年度 (R3.12 末時点)	7,437	0	0	4,395	26	11,858



【有害鳥獣の被害状況報告の変更】

(現状) 市に提出された要望書及び実施隊の活動から被害状況を作成

令和2年度 有害鳥獣の被害状況一覧表

No.	鳥獣名	日付	地区名	被害状況	No.	鳥獣名	日付	地区名	被害状況	No.	鳥獣名	日付	地区名	被害状況
1	イノシシ	6/15	東垂水	水路・畦道を掘り起こす	1	アライグマ	4/13	出水	建物侵入	32	アライグマ	6/9	岩屋	作物被害(自家用)
2		7/9	古家	圃場の畦被害	2		4/14	長谷	建物侵入	33		6/10	家原	建物侵入
3		7/14	松沢	農地被害	3		4/16	曽我	作物被害(自家用)	34		6/12	山国	建物侵入
4		7/16	曽我	農作物被害	4		4/21	上田	建物侵入	35		6/12	東実	作物被害(自家用)
5		7/17	常田	農業施設(水路等)被害	5		4/23	西古瀬	作物被害(自家用)	36		6/12	嬉野東	作物被害(自家用)
6		7/28	栄枝	電柵越え田を荒らす	6		4/28	黒石	建物侵入	37		6/15	上鴨川	作物被害(販売用)
7		7/31	高岡	小学校下校時に猪出沒	7		5/7	古家	作物被害(自家用)	38		6/16	窪田	建物侵入
8		8/7	新定	圃場侵入、畦掘り起こし	8		5/11	西戸	建物侵入	39		6/16	上久米	作物被害(販売用)
9		8/7	畑	圃場侵入、畦掘り起こし	9		5/11	山国	建物侵入	40		6/17	下久米	作物被害(自家用)
10		8/18	牧野	圃場侵入	10		5/12	喜田	建物侵入	41		6/17	新町	建物侵入
11		8/19	久米	地面掘り起こし、糞害	11		5/14	窪田	作物被害(自家用)	42		6/17	藤田南	作物被害(販売用)
12		8/21	西戸	圃場荒らし、柵破壊	12		5/18	上久米	建物侵入	43		6/17	西戸	作物被害(自家用)
13		8/21	久米	稲食い荒らし、畦堀起こし	13		5/19	上中	作物被害(自家用)	44		6/17	西戸	作物被害(自家用)
14		8/26	下鴨川	農作物被害、畦堀荒らす	14		5/19	北野	作物被害(自家用)	45		6/18	東実	作物被害(自家用)
15		9/3	新定	農作物被害、畦堀荒らす	15		5/20	東実	作物被害(販売用)	46		6/19	上久米	建物侵入
16		9/8	新定	農作物被害、水路埋める	16		5/21	森	建物侵入	47		6/22	沢部	作物被害(自家用)
17		9/15	藪	作物被害(販売用)	17		5/22	西古瀬	建物侵入	48		6/22	山国	建物侵入
18		9/24	吉井	稲食い荒らし、畦堀起こし	18		5/22	吉馬	作物被害(自家用)	49		6/22	牧野	建物侵入
19		10/20	少分谷	農業施設(水路等)被害	19		5/25	貞守	作物被害(販売用)	50		6/24	藤田	作物被害(自家用)
20		10/26	平木	ゴルフ場芝掘り返し	20		5/25	蔵谷	作物被害(自家用)	51		6/24	西古瀬	作物被害(自家用)
					21	5/29	藪	作物被害(自家用)	52	6/25	多井田	作物被害(自家用)		
					22	5/29	藪	作物被害(自家用)	53	6/25	森	作物被害(自家用)		
					23	5/29	藪	作物被害(販売用)	54	6/25	大門	作物被害(自家用)		
					24	5/29	社2区	作物被害(自家用)	55	6/26	稲尾	建物侵入		
					25	6/2	岡本	作物被害(自家用)	56	6/29	松尾	作物被害(自家用)		
					26	6/5	大門	作物被害(自家用)	57	6/29	喜田YKK	建物侵入		
					27	6/5	上三草	建物侵入	58	6/29	岩屋	作物被害(自家用)		
					28	6/5	新町	建物侵入	59	6/30	古家	建物侵入		
					29	6/8	貞守	作物被害(自家用)	60	7/1	下三草	作物被害(自家用)		
					30	6/8	古家	建物侵入	61	7/1	久米	作物被害(自家用)		
					31	6/9	吉馬	建物侵入	62	7/3	多井田	作物被害(自家用)		
No.	鳥獣名	日付	地区名	被害状況										
1	シカ	7/16	曽我	被害対策										
2		7/28	栄枝	柵を越えて農作物被害										

令和2年度 有害鳥獣の被害状況一覧表

No.	鳥獣名	日付	地区名	被害状況
63	アライグマ	7/3	多井田	作物被害(販売用)
64		7/6	喜田	作物被害(自家用)
65		7/7	大門	作物被害(自家用)
66		7/8	森	作物被害(販売用)
67		7/9	長谷	建物侵入
68		7/10	上久米	作物被害(販売用)
69		7/13	久米	作物被害(販売用)
70		7/13	沢部	作物被害(自家用)
71		7/13	窪田	作物被害(自家用)
72		7/13	摘鹿谷	建物侵入
73		7/20	大畑	建物侵入
74		7/20	藪	作物被害(自家用)
75		7/20	下久米	作物被害(自家用)
76		7/21	野村	作物被害(自家用)
77		7/21	大門	作物被害(自家用)
78		7/30	下久米	作物被害(自家用)
79		7/31	牧野	作物被害(販売用)
80		8/4	久米	作物被害(自家用)
81		8/19	平木	建物侵入
82		8/26	平木	建物侵入
83		9/4	天神	作物被害(自家用)
84		9/8	東実	作物被害(販売用)
85		9/23	高岡	建物侵入
86		9/28	古家	作物被害(自家用)
87		9/29	岩屋	作物被害(自家用)
88		10/12	長谷	建物侵入
89		10/23	東実	作物被害(自家用)
90		10/23	栄枝	作物被害(自家用)
91		10/26	岡本	作物被害(自家用)
92		10/27	西戸	作物被害(自家用)

No.	鳥獣名	日付	地区名	被害状況
93	アライグマ	10/27	山国	建物侵入
94		11/2	稲尾	建物侵入
95		11/5	東実	作物被害(自家用)
96		11/16	西古瀬	建物侵入
97		11/30	高岡	作物被害(自家用)
98		12/14	曽我	作物被害(自家用)
99		12/14	曽我	建物侵入
100		12/21	久米	作物被害(自家用)
101		9/5	古家	建物侵入
102		12/25	古家	建物侵入
103		1/13	松沢	作物被害(自家用)
104		1/14	栄枝	建物侵入
105		1/26	野村	建物侵入
106		2/2	稲尾	建物侵入
107		2/12	下久米	建物侵入
108		2/16	上久米	作物被害(販売用)
109		2/22	上田	建物侵入
110		2/24	古家	建物侵入
111		3/3	出水	建物侵入
112		3/4	光明寺	建物侵入
113		3/5	少分谷	建物侵入
114		3/10	西古瀬	作物被害(自家用)
115	3/10	下久米	作物被害(自家用)	
116	3/11	牧野	作物被害(自家用)	
117	3/12	岡本	作物被害(自家用)	
118	3/15	大畑	作物被害(自家用)	
119	3/15	長谷	建物侵入	
120	3/17	貞守	作物被害(自家用)	
121	3/18	下鴨川	建物侵入	
122	3/19	上久米	作物被害(自家用)	

No.	鳥獣名	日付	地区名	被害状況
123	アライグマ	3/22	廻瀬	作物被害(自家用)
124		3/23	新定	作物被害(自家用)
125		3/29	畑	作物被害(自家用)
126		3/29	畑	建物侵入
127		3/29	下鴨川	作物被害(自家用)

No.	鳥獣名	日付	地区名	被害状況
1	ヌートリア	6/29	松尾	土手に穴をあける
2		7/13	東実	作物被害(販売用)
3		11/24	西垂水	池堤体に穴、漏水
4		12/14	沢部	池堤体に穴をあける
5		2/2	松尾	作物被害(販売用)
6		2/5	福吉	川堤体に穴をあける
7		3/9	西垂水	池堤体に穴、漏水

鳥獣名	令和2年度	
	件数	
イノシシ	20	
シカ	2	
アライグマ	127	
ヌートリア	7	
合計件数	156	

(変更後) 地区への被害状況聞き取り結果をもとに被害状況を作成

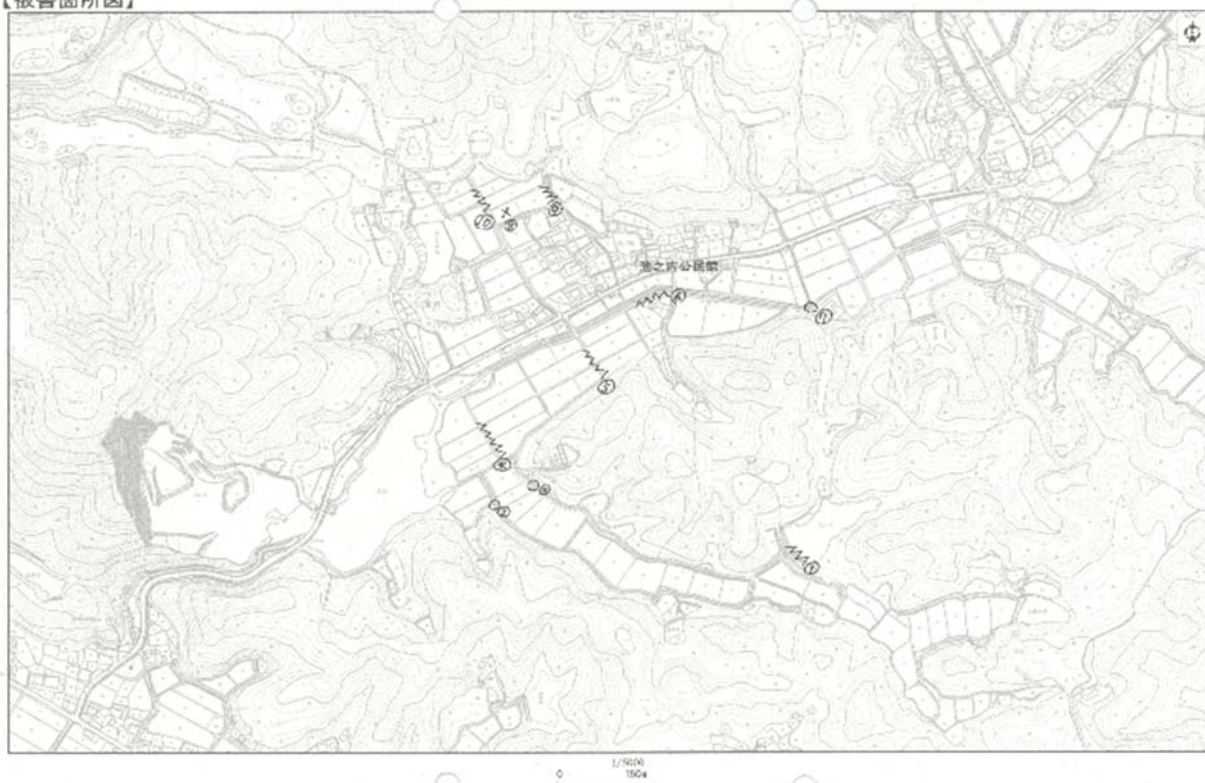
※様式は検討中

地区への被害状況聞き取り結果 (参考)

【令和3年集落被害一覧表】 地区名: _____

番号	区分	獣種	被害対象	被害面積	被害月	被害・目撃の状況
例	被害・目撃	イノシシ・シカ	水稲、イモあぜ	5m×5m =25㎡	9月ごろ	苗を食べる。稲を倒す。サツマイモを食べる。あぜを掘り返す。夕方7時ごろ目撃した。 など
①	被害・目撃	イノシシ・シカ	池の堤	2m×15m =30㎡	8月ごろ	池の堤を掘り返す
②	被害・目撃	イノシシ・シカ				9月上旬 夕方6時30分ごろ
③	被害・目撃	イノシシ・シカ				7月上旬 夕方4時ごろ
④	被害・目撃	イノシシ・シカ	あぜの法面	1m×30m =30㎡	8月ごろ	あぜの法面を掘り返す
⑤	被害・目撃	イノシシ・シカ	あぜ	1m×15m =15㎡	8月ごろ	あぜを掘り返す
⑥	被害・目撃	イノシシ・シカ	水路敷	1m×18m =18㎡	6月ごろ	水路敷を掘り返す
⑦	被害・目撃	イノシシ・シカ				8月下旬 夕方7時ごろ
⑧	被害・目撃	イノシシ・シカ	水稲	10.3アール	9月ごろ	1筆全滅(稲を倒す等)
⑨	被害・目撃	イノシシ・シカ	あぜの法面	1m×25m =25㎡	8月ごろ	あぜの法面を掘り返す
⑩	被害・目撃	イノシシ・シカ	水路敷	2m×10m =20㎡	8月ごろ	水路敷を掘り返す。

【被害箇所図】



【取組内容】

・加害個体の捕獲（有害鳥獣捕獲）

※R3 は R3. 12 末時点

	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R2	R3
イノシシ (頭)	22	20	30	27	28	22	49	41

・集落柵の整備（国の補助事業による獣害対策柵設置状況）

地区		前年度まで	R3年度（予定）	集落毎の計
		金網	金網	金網
1	畑	1, 238m	0m	1, 238m
2	下久米	990m	0m	990m
3	上三草	382m	633m	1, 015m
4	下三草	750m	0m	750m
5	馬瀬	1, 550m	404m	1, 954m
6	牧野	2, 495m	0m	2, 495m
7	下鴨川	3, 769m	75m	3, 844m
8	平木	4, 777m	1, 093m	5, 870m
9	光明寺	3, 432m	0m	3, 432m
10	上滝野	1, 360m	0m	1, 360m
11	河高	668m	0m	668m
12	高岡	2, 857m	0m	2, 857m
13	古家	1, 089m	0m	1, 089m
14	常田	743m	0m	743m
15	少分谷	1, 850m	0m	1, 850m
16	貞守	2, 765m	0m	2, 765m
17	長井	837m	0m	837m
18	岡本	2, 181m	0m	2, 181m
19	岩屋	574m	0m	574m
20	新定	1, 320m	0m	1, 320m
21	吉井	1, 900m	0m	1, 900m
22	小沢	1, 122m	0m	1, 122m
23	栄枝	200m	247m	447m
24	厚利	845m	0m	845m
25	松沢	1, 610m	0m	1, 610m
26	大畑	2, 046m	743m	2, 789m
27	蔵谷	4, 759m	600m	5, 359m
28	藪	1, 422m	0m	1, 422m
29	久米	115m	0m	115m
30	上鴨川	0m	651m	651m
合計		49, 646m	4, 446m	54, 092m

・特定外来生物の捕獲

※R3 は R3. 12 末時点

	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R2	R3
アライグマ (頭)	268	197	324	165	275	284	365	344
ヌートリア (頭)	51	40	25	65	23	26	40	5

・鳥獣被害対策実施隊 活動

平成 30 年度

被害現場の確認 (イノシシ) 21 回 被害現場の確認 (カラス) 1 回
 周辺への注意喚起 (サル) 10 回

令和 元 年度

被害現場の確認 (イノシシ) 34 回 被害現場の確認 (シカ) 5 回
 被害現場の確認 (カラス) 1 回 被害現場の確認 (アライグマ) 2 回

令和 2 年度

被害現場の確認 (イノシシ) 20 回 被害現場の確認 (シカ) 5 回
 被害現場の確認 (カラス) 1 回 被害現場の確認 (アライグマ) 6 回
 周辺への注意喚起 (サル) 3 回 出没現場確認 (その他) 5 回

令和 3 年度

被害現場の確認 (イノシシ) 28 回 被害現場の確認 (シカ) 4 回
 被害現場の確認 (アライグマ) 4 回

・啓発活動

《獣害対策セミナー》

平成 28 年度「アライグマ・イノシシの生態と被害対策について」 参加者 130 名

平成 29 年度「イノシシの生態と防護柵について」 参加者 77 名

平成 30 年度「地域ぐるみの被害防止について」 参加者 63 名

令和 元 年度「アライグマ等の効果的な防除対策について」 参加者 36 名

令和 2 年度「イノシシの生態と集落ぐるみの防護柵の管理について」

ケーブルテレビ企画番組 (令和 2 年 12 月 21 日～23 日)

令和 3 年度「アライグマの生態と被害対策について」

ケーブルテレビ企画番組 (令和 3 年 12 月 27 日～29 日)

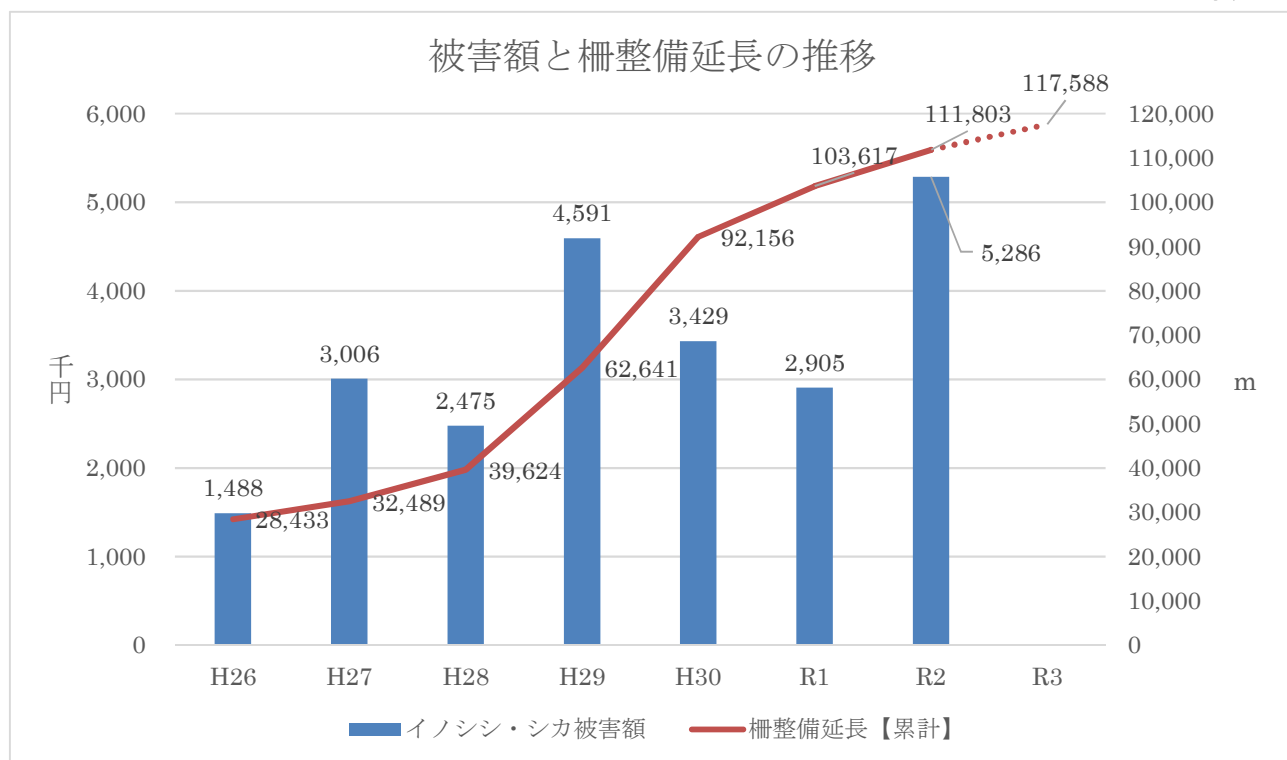
【実績から見る効果と検証】

①被害額と柵の累計整備延長

(単位:千円,m)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
イノシシ・シカ被害額	1,488	3,006	2,475	4,591	3,429	2,905	5,286	
柵整備延長【累計】	28,433	32,489	39,624	62,641	92,156	103,617	111,803	117,588
金網柵	13,549	14,265	15,817	30,617	35,879	45,640	49,646	54,092
ワイヤーメッシュ柵	1,575	1,575	2,825	7,952	9,386	9,386	10,039	10,314
電気柵	13,309	16,649	20,982	24,072	46,891	48,591	52,118	53,182

(予定)



被害額は H29 まで増加傾向が見られる。H29 をピークに減少に転じているが、R2 に被害額が大きく増加した。

集落柵の延長は H26 から H28 まで微増で、H29 以降は大きく増加している。

<検証>

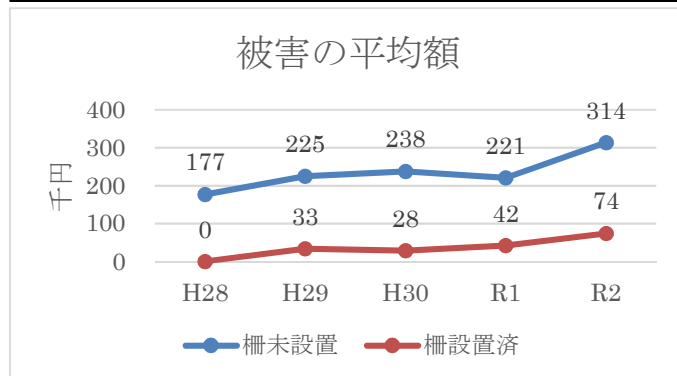
平成 29 年度に集落柵の延長が大きく増加した結果、平成 30 年度の被害額が減少しており、平成 30 年度以降も集落柵の延長の増に合わせて被害額が減少していることから、集落柵の設置が被害額の減少につながっていた。しかし、令和 2 年度の被害額が大きく増加したことから、侵入防止柵の設置だけでは防ぎきれないほどイノシシの加害個体が増えてきている可能性がある。

②地区別のイノシシ・シカ被害額と集落柵の整備状況

地区		H29年度		H30年度		R1年度		R2年度	
		被害額(千円)	H28柵設置(m)	被害額(千円)	H29柵設置(m)	被害額(千円)	H30柵設置(m)	被害額(千円)	R1柵設置(m)
			金網		金網		金網		金網
1	山国	81		128					
2	廻淵			186				330	
3	池之内			144					
4	上久米	972		199		267		304	
5	牧野			145	1,097	25	600		
6	椅鹿谷			297					
7	西戸	159		197		216			
8	長井		121	26					
9	長谷			28				303	
10	黒石	402		253		113			
11	横谷	52		209		165			
12	岩屋	86		287				152	574
13	新定	537		1,083		785		1,165	
14	吉井			57			1,300		
15	大畑					227	912	25	500
16	蔵谷	200		106	1,565	530		620	2,495
17	藪	472		84	1,422	224		541	
18	厚利				845				
19	嬉野	78							
20	黒谷								
21	下久米								
22	天神	17						63	
23	平木	52	806		957		1,000	89	1,000
24	古家								
25	森尾							50	
26	岡本	154						355	
27	久米	271				101		380	
28	栄枝	489						114	200
29	貞守	48	625		2,140				200
30	上三草					190			
31	下三草	158			750				
32	少分谷	41					550		
33	曾我	124						150	
34	野村	124							
35	森	30							
36	依藤野	44							
37	松沢				1,460				150
38	上鴨川					25			
39	下鴨川				1,700	12			1,865
40	光明寺				1,272				942
41	上滝野				920				440
42	高岡				672		900		855
43	稲尾					25		330	
44	河高								540
45	貝原							240	
46	馬瀬							12	
47	東垂水							63	
合計		4,591	1,552	3,429	14,800	2,905	5,262	5,286	9,761

集落柵未設置地区・設置済地区の被害額と平均額

	H28		H29		H30		R1		R2	
	柵未設置地区 (14地区)	柵設置地区 (1地区)	柵未設置地区 (20地区)	柵設置地区 (3地区)	柵未設置地区 (13地区)	柵設置地区 (12地区)	柵未設置地区 (12地区)	柵設置地区 (6地区)	柵未設置地区 (14地区)	柵設置地区 (12地区)
被害額(千円)	2,475	0	4,491	100	3,094	335	2,653	252	4,400	886
平均額(千円)	177	0	225	33	238	28	221	42	314	74



(被害額／柵未設置地区数)

(被害額／柵設置地区数)

集落柵を設置して効果が出た地区数（集落柵を設置した地区で、前年度より被害額が減少した地区及び被害がなかった地区）

H 2 8 1 地区（集落柵設置 1 地区）

H 2 9 1 地区（集落柵設置 3 地区）

H 3 0 1 1 地区（集落柵設置 1 2 地区）

R 1 5 地区（集落柵設置 6 地区）

R 2 8 地区（集落柵設置 1 2 地区）

< 検証 >

集落柵を設置した地区の多くで、被害額の減少が見られる。また、被害の平均額についても、集落柵を未設置の地区に対して設置済の地区は極めて少額であることから集落柵の被害軽減効果は高い。

しかし、令和 2 年度においては、柵設置地区、未設置地区どちらも大きく被害額が増加している。先ほども述べたとおり、侵入防止柵の設置だけでは防ぎきれないほどイノシシの加害個体が増えてきている可能性がある。

【獣害ベルト緊急整備の被害箇所推移】



【獣害ベルト緊急整備の被害箇所推移】

■馬瀬（被害箇所は地区からの聞き取り）

馬瀬地区では、令和2年10月から令和3年3月まで獣害ベルト緊急整備を行ったが、受益区域での被害量は減少していない。獣害ベルトの整備箇所付近から侵入したイノシシによって被害が発生しているのか、整備箇所付近以外から侵入したイノシシ等によって被害が発生しているのか、見極めて対応する必要がある。

凡例

▲R2 被害箇所

●R3 被害箇所

R3 獣害ベルト
整備予定箇所

R2 獣害ベルト
整備箇所

馬瀬公民館

R3 獣害ベルト
整備予定箇所

受益区域

【新たな取組】

■センサーカメラによるイノシシ等の状況確認

・下久米



・古家



鳥獣被害防止総合対策事業（推進事業）を活用し、令和3年10月にセンサーカメラ2基を購入した。地区から獣害の相談があった箇所に設置し、撮れた動画、写真から被害状況の確認や加害個体の侵入経路の確認を行い、地区へ助言等を行っている。

令和3年度中に6基を追加購入し、地区の獣害対策に活用できるよう運用していく。

■アライグマ被害対策

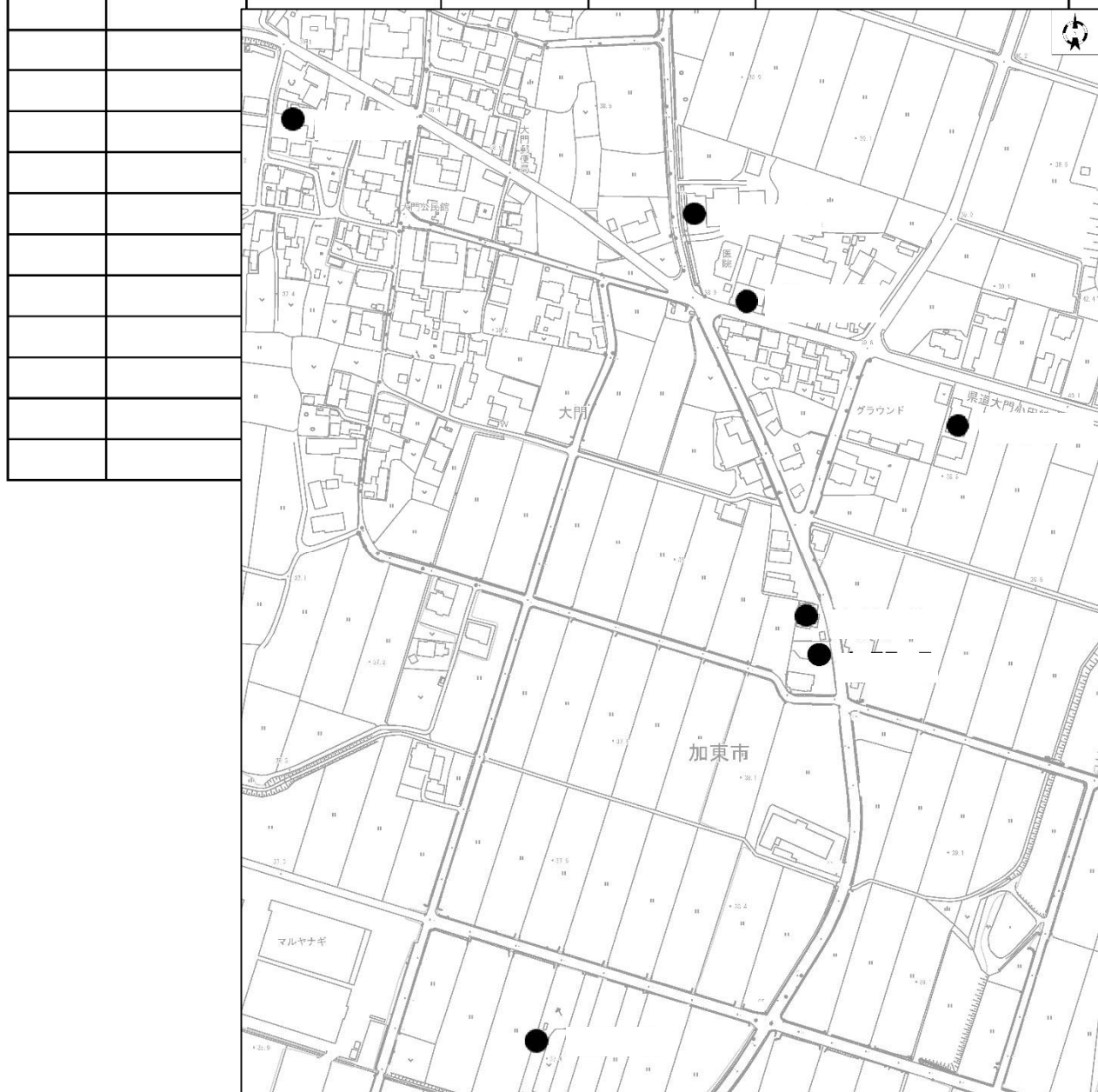
○地区と被害箇所との共有

地区に対して、3か月に一度、檻の貸出依頼のあった被害箇所をとりまとめた資料を送付し、地区が行う被害対策に役立ててもらおう。

(参考)

令和3年12月31日現在

番号	捕獲要望日	捕獲予定場所	被害状況等	従前の対策等	捕獲檻設置期間
	R3.5.13		敷地侵入	なし	R3.5.13 ～
	R3.5.31		農作物被害	なし	R3.5.31 ～
	R3.5.31		農作物被害	電気柵	R3.5.31 ～ R3.8.13
	R3.6.7		農作物被害	なし	R3.6.7 ～ R3.7.30
	R3.7.1		農作物被害	ネット	R3.7.1 ～
	R3.7.27		農作物被害	電気柵	R3.7.27 ～ R3.9.6
	R3.7.27		農作物被害	電気柵	R3.7.27 ～ R3.9.6



○捕獲オリの保有数量増

アライグマの出没が多い時期（4月～9月頃）でも、対応できるよう数量を確保した。

（1 1 1 基→1 3 3 基）

令和2年度捕獲オリの保有数 1 1 1 基

令和3年度 2 2 基追加 ・ 7 基購入（鳥獣被害防止総合対策事業（推進）補助金）

・ 1 5 基県からの貸与

※令和3年度鳥獣被害防止総合対策事業（推進）補助金の補正分を活用し、3 0 基を追加購入予定

○被害の多い地区・箇所への捕獲オリ設置（令和4年度から実施予定）

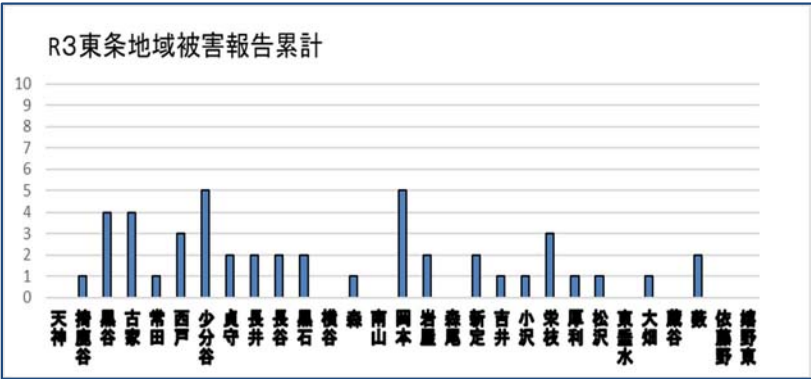
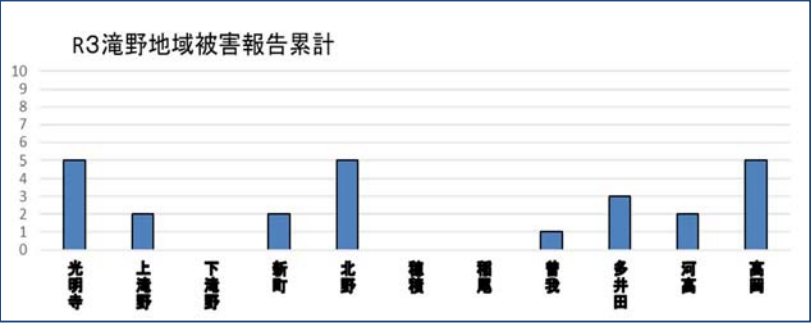
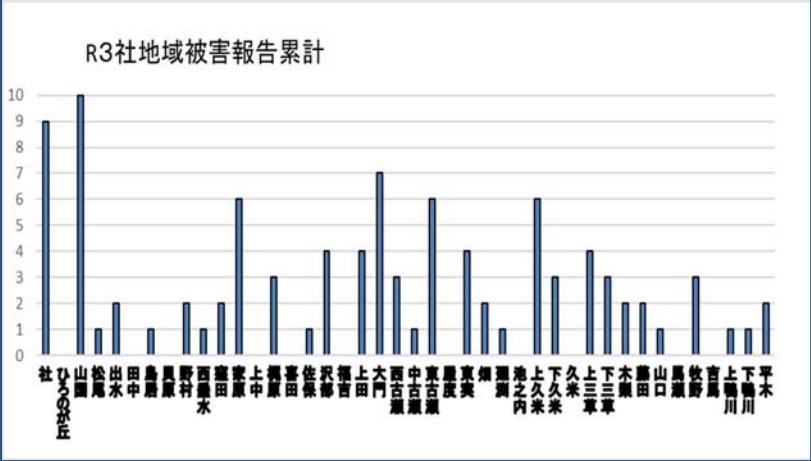
過去の被害箇所を分析し、被害の多い地区と協議の上、捕獲効率が高いと思われる箇所へ捕獲オリを設置する。

R3年度 地区別被害報告総数 R4. 1. 31

設置累計

地区名	設置数
社	9
ひろのが丘	0
山国	10
松尾	1
出水	2
田中	0
鳥居	1
貝原	0
野村	2
西垂水	1
窪田	2
家原	6
上中	0
梶原	3
喜田	0
佐保	1
沢部	4
福吉	0
上田	4
大門	7
西古瀬	3
中古瀬	1
東古瀬	6
屋度	0
東実	4
畑	2
廻渕	1
池之内	0
上久米	6
下久米	3
久米	0
上三草	4
下三草	3
木梨	2
藤田	2
山口	1
馬瀬	0
牧野	3
吉馬	0
上鴨川	1
下鴨川	1
平木	2
計 1	98

地区名	設置数
光明寺	5
上滝野	2
下滝野	0
新町	2
北野	5
穂積	0
稲尾	0
曾我	1
多井田	3
河高	2
高岡	5
計 2	25
天神	0
持鹿谷	1
黒谷	4
古家	4
常田	1
西戸	3
少分谷	5
貞守	2
長井	2
長谷	2
黒石	2
横谷	0
森	1
南山	0
岡本	5
岩屋	2
森尾	0
新定	2
吉井	1
小沢	1
栄枝	3
厚利	1
松沢	1
東垂水	0
大畑	1
蔵谷	0
藪	2
依藤野	0
嬉野東	0
計 3	46



合計	169
----	-----

シカ・イノシシの侵入を阻止!

くまが丘牧場・姫島製菓有限会社 瀬田工場
瀬田工場・志川高ハートナレッジ学習支援施設

害獣対策グレーチング付U字溝

わたれませんー

シカ・イノシシによる中山間地域の甚大な農作物被害を減らすため、人や車は通れるがシカ・イノシシは通りにくい、「**グレーチング付U字溝・わたれませんー**」を開発しました。

▼シカ・イノシシが、わたれないのは「グレーチング付U字溝」の「グレーチング」が、半面110mm×長さ400mm以上の「格子」でできているためです。

※犬

【特長】

- ・最長約の1メートル幅、近所様方には約1.20メートル幅の製品を、通行方向により両り併用でも設置可能と設置可能です。
- ・シカ・イノシシの害獣対策が「グレーチングデザイン」・「格子」で簡単設計、・設置はミニコンクリートの必要、・設置費用が低く可能。

侵入防止柵が設置できない道路等でも、人や自動車が通行可能（耐荷重 25 t 程度）で、害獣が侵入しにくくなる。

条件によるが、市道に設置可能

道路工事が必要なため設置費用が高額



侵入防止柵が設置できない道路等でも、人や自動車が通行可能（耐荷重 4 t 程度）で、害獣が侵入しにくくなる。

道路工事が不要で設置が簡易

市道等での設置不可



畔や山の法面等、獣害対策が難しい箇所でも設置が可能で、害獣が侵入しにくくなる。

軽量で設置が簡易
安価

忌避効果が小さい
市道等での設置不可

■わたれません（害獣侵入防止装置）の検証

○検証内容

一定期間「わたれません LIGHT」（グレーチング付 U 字溝簡易施工タイプ）を設置し、鳥獣の進入経路にどのような影響を与えるか検証する。

○設置の前提

- ①野生動物が集落へ侵入するルートが侵入防止柵等により限られている箇所
- ②農道や林道で設置が可能な箇所

○設置箇所

大畑 5 3 7 - 1 7 付近（山壁と侵入防止柵によりルートが限定された箇所）

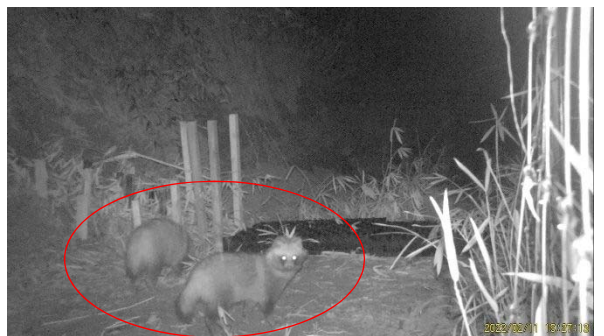


○検証期間

- 1 回目 令和 3 年 1 2 月 2 7 日～令和 4 年 1 月 7 日 1 2 日間
- 2 回目 令和 4 年 1 月 1 2 日～令和 4 年 2 月 1 4 日 3 4 日間

○結果





○考察

わたれません LIGHT を設置する前の12月22日、わたれません LIGHT を設置した後の1月3日・4日にイノシシを確認できた以降、イノシシの姿は見られなかった。

1か月以上イノシシを確認できなかったことから、①侵入経路を変更した。②生息域を変更した。③当該個体が死亡した。のいずれかと推測される。③の可能性は否定できないが、①②である場合、わたれません LIGHT の効果は、音や光の脅し効果以上の侵入防止対策となる。

■猪ふまズの検証

○検証内容

一定期間「猪ふまず」を設置し、鳥獣の進入経路にどのような影響を与えるか検証する。

○設置箇所

岡本1647-1付近



○検証期間

令和4年2月13日～

結果（令和4年2月15日時点）



考察

設置して2日目でイノシシが確認できた。当該個体が今後、「出てこない」もしくは「出てきても引き返す」のであれば一定の効果があると判断できる。引き続き効果を検証する。

【総括及び今後の方針について】

「地域ぐるみで取り組む集落柵整備と加害個体の集中捕獲」を取組方針として、獣害対策の施策を実施してきた。特に、侵入防止柵の設置を推進しており、被害額と柵の累計整備延長を見ても、柵の設置に一定の効果があることは実証できた。

しかし、令和2年度において、イノシシの被害額の増加が顕著であり、柵の設置だけでは被害を抑えきれなくなっている。

侵入防止柵未設置箇所の柵の設置を促進すること、設置後の維持管理の徹底を改めて啓発することがまずは必要であるが、令和2年度から開始した獣害ベルト緊急整備のように、侵入防止柵の効果を高める又は侵入防止柵の設置が困難な箇所での対策の充実が必要となっている。

今回検証を行った害獣侵入防止装置の結果は、「効果的である。」と断ずるには時期尚早であり、引き続き検証を行っていく必要があると考えるが、その他新たな獣害対策を調査・検証していく。

また、加害個体の集中捕獲についても、令和4年度から新たな取組として、有害捕獲に必要な捕獲オリの増設、有害捕獲の受託者への報酬額の増による捕獲意欲の拡大、そして県の鳥獣対策サポーター派遣支援を活用したイノシシの生息調査及び捕獲業務委託で、加害個体の捕獲数の増を図る。

また、市から地区へ一方的な施策とならないよう、地区の獣害対策への助言を行うためのセンサーカメラや鳥獣対策サポーター派遣支援を活用して、その地区に合った対策を地区と協議しながら行っていく。